



コーディネーター

CO新聞

H24.7.18号
HP・掲示用

What is 巡回相談?!



【巡回場所】新宮・東牟婁地域の保育園、幼稚園、小中学校、高等学校 等

【手続き】各校や各関係機関からの依頼を頂き行なっています。

【内容】

① 間接的支援(コンサルテーション)

・授業見学を行い、各関係機関や学校職員へ支援方法などについて個別に話し合う。

② 継続した支援のための巡回

・みくまの支援学校の教育相談を受けられているお子さんの学校での様子を見学する。
必要に応じて、支援方法や学校間の連携について共通理解を図る。

③ アセスメントの実施

・保護者同意の下、必要に応じて個別にアセスメントを行なう。

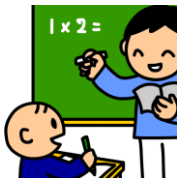
④ 研修等の講師

・必要に応じて、特別支援教育に関する内容で研修を行なう。

(対象児童・生徒の支援に対する共通理解を図ることを目的とすることもあります。)

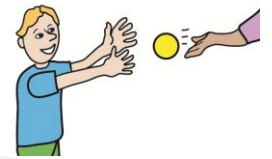


巡回相談では、集団指導のプロである地域の学校の先生方から、集団での教科指導や教材提示の仕方など沢山のことを教えて頂きます。巡回相談は、個別指導のプロと集団指導のプロとが力を合わせ、よりよい指導を考えいくことを目的としています。 (逢野)



視覚は学ぶもの①

～学校で求められる「目」とは?～



学校で子どもたちが関わる作業の8割以上は、視覚的な性質のもので、

本を効率よく読むための目のスムーズな動き（**眼球運動**）、板書のためのピント合わせ（**調節**）、漢字や英語、符合、記号を覚えるための形の正確な入力（**形態知覚**）、図形を理解するための左右、上下、斜めの理解（**空間認知**）、飛んでくるボールを正確にキャッチする（両目のチームワーク=**眼球運動**、**目と手の協応**）など、子どもはたくさんの「視覚」を要求されます。

また、視力や目の動き以外に、からだの動きや働きの認識力も「視覚」の重要な要素のひとつです。自分の体の認識力を高め、視線を正確に運び、空間の中で効率よく知的に活動できるようになるひとつの方法として、「ビジョントレーニング」があります。

次回、この「ビジョントレーニング」の具体的な例を紹介したいと思います。 (有本)

